



MITSUBISHI MOTORS Recruiting Guide

What's your Ambition?

— あなたの志は何ですか? —



What's your Ambition?

— あなたの志は何ですか? —

世界は、社会は、暮らしは、常にアップデートしつづけている。

その変化に目を向け、いかに新しい体験を生み出すか—
私たちは、創業以来、世界中のあらゆる人に自動車を通じて、新しい体験を生み出してきた。

未発展の国の「インフラ」として
環境との共存を果たす「EV・PHEV分野の先駆者」として
乗る楽しみを追求した「伝導者」として

「私たちに何ができるだろう」と考え
研鑽しつづけることで、それらに向き合ってきた。

その源泉には、
「今に満足することなく、いつまでも価値を生みつづける三菱自動車らしさ」を
追求しようという志がある。

「私の志は、どこまで未来を切り拓くことができるだろう？」
このように一人ひとりが、常にチャレンジャーでありつづけている。

What's your Ambition? — あなたの志は何ですか? —
それは、日常的に社内に飛び交う言葉。そして、皆さんに聞きたい言葉。



Contents

04

激動の変化の中であって
決まりきった
答えなんてない



08

episode.2
新興国での製造拠点開発は、
いつしか世界生産の拠点となった



12

常に、その局面で
最大の力を発揮してきたからこそ、
今の強みが確立されている



06

episode.1
タフな自動車は、
いつしか新興国の足となった



10

episode.3
移動と電力を組み合わせたPHEVは、
エネルギーインフラへと広がった



14

Out Line



激動の変化の中であって

決まりきった

答えなんてない

転換期を迎える自動車業界。 次の時代を担うキープレイヤーとなるために。

「EV」「自動運転」「コネクティビティ」…、自動車業界の未来を語る際に、これらの言葉はキーワードのように語られています。事実、IoTの進展に伴い、新しいキープレイヤーが参入し、業界構造を大きく変える「ゲームチェンジャー」が次々に現れたことにより、自動車の概念や位置付けは大きく変わってきています。これまで成功していたことだから、これからも成功するという概念は壊れ、まったく新しい価値を生み出す、破壊的なイノベーションが始まるうとしていると言っても過言ではないでしょう。コモディティ化したモノではなく、「らしさ」を追求し、独自の価値を生み出しつづけるために、私たちは立ち止まることはありません。

Digital Transformation

AI

Global Eco system

Sharing Economy

Global



KeyWord.1 燃費規制の伸展に伴うEV化の流れ

世界的に進む燃費規制の流れ。2010年代に入ってから新興国市場でも規制が強まり、現在、世界市場の9割以上が、その規制の対象となっています。また、一部の国では、2030年以降にガソリン車やディーゼル車の販売を禁止する流れもあり、EV化の流れは一層加速しています。三菱自動車は、EV・PHEVのパイオニアとして2009年に『i-MiEV』の量産製造を開始し、2013年には世界初の4WSUVプラグインハイブリッドEV『アウトランダーPHEV』を市場に投入するなど技術の進展に寄与してきました。また、2050年CO₂排出ネットゼロ社会の実現に貢献するため、まずは2030年までに新車と事業活動で排出される二酸化炭素(CO₂)の40%削減および電動車比率50%の達成を目指すことなどを掲げた「新環境パッケージ」を策定し、実現に向けて取り組んでいます。今後、さらに高まる環境保護への需要に応えるために、長きにわたってEV技術を磨きつづけた経験と知財を基に、さらなるイノベーションに向かっていきます。

KeyWord.2 自動運転の実現は、次世代のモビリティ・インフラ産業へと変貌

自動車メーカーだけでなく、IT産業も参入し、開発が進む自動運転技術。自動運転Level5と言われる完全自動運転の実現に向けた開発ロードマップは、確実に進んできています。また、シェアリングエコノミーによる保有するモノから、移動するコトへの転換、次世代通信規格5Gの普及によりさらなる可能性の広がるコネクティッド・カーのサービス開発など、通信インフラがモビリティ変革を支え、自動運転技術は社会を変えるモビリティ・インフラ産業へと発展していきます。三菱自動車は、この大きな変革の中で、培った技術と変革する環境を的確に融合させ、新たな自動車開発を推し進めています。





タフな自動車は、 いつしか新興国の足となった



三菱自動車は、4WD技術のパイオニアです。過去30年間、バリダカで『パジェロ』が連続優勝、四輪制御技術を搭載した『ランサー エボリューション』でWRCに参戦するなど、技術を磨いてきました。過去10年間で『アウトランダー』や『パジェロスポーツ』といったSUV人気を加速させる車種を投入。磨きつづけてきた4WD技術は、移動手段が限られる新興国で人々の足として活躍し、マーケットは広がっています。

走破性だけが4WDじゃない。
だから海外でも“足”となり、“暮らし”となり得た。

4WDはその特長から高い走破性を持つ一方、雪道や悪路の発進性・走破性ばかり高めてしまうと、「曲がりにくい・止まりにくい車」になってしまいます。三菱自動車の4WDへの思想、それは「ドライバーの意のままの操縦性を持つ4WD」であること。どんな路面状況に対しても、クルマがいかにドライバーのイメージ通りに動くのかを追求しつづけてきました。

現在、タイやフィリピンなどASEAN諸国において三菱自動車の4WD・SUVは代表的な車種として確固たる信頼を築いています。未だ舗装されていない道が数多く残る環境において、堅牢性と日常使いできる操作性を兼ね備えているからこそ、新興国の人々にとってなくてはならない存在になり得たのです。パイオニアとしての開発思想が、人びとの暮らしに根付いていく。私たちはこれからも、新たなドライバーとの出会いのために、クルマづくりを追求しつづけていきます。



日本にSUVの一大ムーブメントを起こした『パジェロ』。コンセプトとしてきたのは、運転者が乗った瞬間にどんな場所へでも行けるという安心感・可能性を感じさせるクルマであること。苛酷な砂漠やジャングルでさえやすやすと誰でも走破できるように、ボディ、サスペンション、エンジンのすべてに三菱の技術が結集された、当社の象徴のような車種です。そして現在、これまでに培ったSUVのノウハウを活かし、海外販売向けに多様なラインナップを揃え、世界中のお客様のニーズに応えるクルマを提供しつづけています。



パジェロスポーツ
三菱自動車の代表的な本格SUV『パジェロ』で培ったオフロード性能と信頼性・耐久性に、乗用車並みの快適性・機能性を融合させたミッドサイズSUV。



トライトン
高い環境性能の新2.2Lクリーンディーゼルエンジンと先進の安全システムを新たに搭載した本格ピックアップトラック。

新興国での製造拠点開発は、 いつしか世界生産の拠点となった



三菱自動車は1961年にタイで操業を開始。“東洋のデトロイト”と言われるほど自動車産業が盛んな成長市場であるタイに、三菱自動車は50年以上前から進出。タイの自動車産業にとって、そしてASEAN諸国において存在感を高めつつあります。



タイ王国のエネルギー政策を見据えて一。 製造拠点という枠を超えたクルマづくり。

ASEANの中で、タイは政府主導で自動車メーカーの工場を積極的に誘致し、長期で自動車産業の成長に取り組んできた国です。三菱自動車は早くから経済成長性を見通し、多くの従業員がタイに勤務しており、現地の雇用創出も担う一大生産拠点となっています。2018年には広大な研修センター「Education Academy」を設立し、ASEAN諸国の研修機能を担う施設として、販売スタッフの育成にも取り組んでいます。



タイ政府は、「タイランド4.0」という環境政策を打ち出し、電気自動車の普及に一步を踏み出しました。こうした環境下において、EV・PHEVの技術開発を推し進める三菱自動車は、『アウトランダーPHEV』の現地生産プロジェクトも開始しクリーンエネルギー推進に貢献していきます。以前は、単なる生産拠点のひとつだった工場が、雇用を生み、人びとのカーライフを変え、国の成長に貢献していく。私たちは、クルマづくりを通して次の時代を見据えています。

タイに加え、インドネシア、フィリピンにおいても人口増加と経済成長が進んでおり、自動車の購入意欲が高い若い世代が多いマーケットとなっています。ASEANにおける三菱自動車の歴史は50年以上あり、現地でも確固たるブランドの地位を築いています。インドネシアはASEAN各国に輸出し好評をいただいているMPV『エクスペンダー』の生産拠点となっており、今後、より一層地域戦略として強化していく重要地域となっています。



移動と電力を組み合わせたPHEVは、 エネルギーインフラへと広がった



PHEVとは、ハイブリッド車(HV)と電気自動車(EV)の長所を兼ね備え、外部充電もできる新しいカタチのクルマです。『アウトランダーPHEV』は、より細かな四輪制御と優れた燃費性能を併せ持つツインモーター4WD。クルマとしての活躍の場は、アウトドアやレジャー、災害時の非常電源など、広がりを続けています。



三菱自動車では、電動車の意義と価値を多くの方に感じていただくためのプレゼンテーションツールやデモンストレーションコーナーを備えた次世代型の店舗「電動DRIVE STATION」に力を入れています。2016年10月には、第1号店を東京・世田谷にオープンしました。店舗では太陽光で発電した電力を電動車への充電に使用しています。また、日本のエネルギー問題に対して電動車が果たす役割と、災害時に電動車の外部給電機能がもたらす価値について、デジタルサイネージやタブレット端末などで紹介しているほか、停電発生時の「V2H」機器による電動車からの電力供給の実演や、電動車の100VAC電源による家庭電化製品の複数使用の実演を行うデモンストレーションコーナーを設けています。今後も「電動DRIVE STATION」を全国に順次展開し、環境への貢献だけでなく、エネルギー問題や災害に負けないレジリエントな社会づくりに貢献していきます。

「クルマは移動するときだけに使うもの」、 そんな常識が、このクルマによって変わりつつある。

『アウトランダーPHEV』は、ガソリンとの併用で最大約10日間の電力確保が可能です。時代のニーズに対応した給電システムを開発し、磨き上げた「S-AWC」技術によって、新しいクルマの活用方法が浸透し始めています。例えば、クルマのモビリティを最大限活かし、これまで電源がない場所でPCやプロジェクターが使えたり、使い慣れた家電がキャンプで使えるようになったり。さらには、悪路走破性を兼ね備えているからこそ、災害時の非常用電源としての価値を認められ、全国の自治体と災害時協力協定の締結を進めています。

また、三菱自動車では電動車を海外で販売している実績があり、まだ電動車が走ることの少ない新興国をはじめ、世界各国で電動車の普及やインフラ整備支援を行い、電力の普及や低炭素社会の実現へグローバルに貢献しています。PHEVの電力を家庭に供給する「V2H」という新たな活用スタイル、そしてクルマの走破性とモビリティを活かした新しい電源確保のスタイルとして一。三菱自動車のクルマづくりが、暮らしを豊かに変えていく推進力になっています。

常に、その局面で
最大の力を発揮してきたからこそ、
今の強みが確立されている



三菱自動車の戦略的強み

4WDヘリテージ

4WD技術のパイオニアとして



パジェロ



アウトランダー



パジェロスポーツ

PHEV技術

世界で初めてプラグインハイブリッドシステムを
搭載したSUVを発売

日本&欧州
累計販売台数No.1

2019年度までの
累計小売販売台数/当社調べ



アウトランダーPHEV



エクリプスクロスPHEV

EV技術と4WD技術が融合し
ツインモーター4WDの
PHEVシステムを搭載した
エクリプスクロスPHEVも登場

地域戦略

50年以上歴史のある
ASEANを中心とした世界戦略



主力地域であるASEANをさらに強化し、新たな生産体制の確立
と販売網の強化によってASEAN主要4ヶ国のマーケットシェア拡大
を図ります。そしてASEAN向け製品をオセアニア、南アジア、南
米、中東、アフリカなど他地域へと展開することで、商品価値最大
化とブランド強化を図ります。

商品・技術戦略

環境対応車(PHEV/EVモデル)ラインアップを強化し
世界最新レベルの技術を搭載した商品を提供

FY2021~



中国市場向け
新型EV

次期アウトランダー
PHEV

軽自動車
EV



次世代ディーゼルとフレームモデル性能の向上
電動化の推進
自動運転など新技術の活用

Recruiting Message

取り巻く環境は変われども、
三菱自動車らしさは変わらない。
100年に1度の変革すらも楽しんでほしい。

自動車業界は非常に裾野が広い巨大な産業です。100年に1度の変革期ともいわれるとおり、業界の垣根がなくなり、「自動車業界」という言葉の意味はますます広がっていきます。私たち完成車メーカーも、単にクルマをつくる以上の役割が求められる存在へと進化していきましょう。

激変の中で戦っていくためには、私たちは独自の価値を追求していく必要があります。新しい技術を取り入れていくのはもちろんですが、三菱自動車は冒険心を奮い立たせるような感覚的価値においても、クルマとしての魅力を追求していきたい。それが「Drive your Ambition」というブランドメッセージに込めた思いであり、さまざまなパートナーと協力して最先端の技術を集めながら、作品とも呼べるようなクルマを生み出していきたいと考えています。

三菱自動車はさまざまな変革の中で常にクルマづくりを楽しみ、ワクワクできるクルマを提供してきました。変革の時代においても、悲観せずに前向きに仕事を楽しむこと。本人たちが仕事を楽しんでいるからこそ、クルマに乗る人の気持ちを揺さぶる「Emotional Value」を生み出せます。これから起こるであろう未知の出来事を、志を持って挑戦する皆さんも一緒に楽しんでいきましょう。



Brand Message

“Drive your Ambition” それは、これから三菱自動車が進む道を示すメッセージです。クルマ社会は新たな変革期を迎えています。今までに無かった、より安全で安心、かつ便利なクルマ社会が実現されようとしています。三菱自動車は、この新しい時代の到来に向けて、これまで培ってきた技術にさらに磨きを掛けるとともに、時代をリードする新しい価値を提供することで、もっと豊かなクルマ社会を実現させます。私たちが提供する新しい価値は、お客様が今までできなかった体験を可能にします。「行動範囲を広げたい、さまざまなことに挑戦したい」そのような志を持ったお客様を、私たちはサポートし続けます。

“Drive your Ambition” は、私たちの決意でもあります。大きな志を持つことで生まれる、独創的で存在感のある商品・サービスを通じて、世界中のお客様とともに成長していきます。

Drive your Ambition

Vision

モビリティの可能性を追求し、活力ある社会をつくります

Mission

- 1 独創的な商品と優れたサービスにより、お客様に新たな体験を提供します
- 2 社会の持続可能な発展に貢献します
- 3 信頼される企業として誠実に活動します
- 4 アライアンスを活用し、ステークホルダーにより高い価値を提供します

募集要項

職 種 ・ 分 野 **技術系** 開発、設計、実験、研究、生産技術、生産管理、品質保証など
事務系 海外営業、国内営業、商品企画、購買、経理、財務、経営企画、総務、人事など

諸 手 当 通勤交通費補助、有扶(家族)手当、時間外労働手当など

待 遇 昇給年1回
賞与年2回(6月、12月)

福 利 厚 生 **〈制度〉**
住宅資金ほか各種貸付金制度、財産形成貯蓄、社内預金、再雇用制度、持株会制度、三菱車社員販売制度、妊娠休業、育児休業及び育児勤務制度、介護休業及び介護勤務制度、在宅勤務制度、帯同休業制度、ライフプラン休業制度、ボランティア休業制度、カフェテリアプランなど

〈施設など〉
独身寮、社宅、社員クラブ、社員食堂、保養所、体育館、グラウンド、病院、診療所など

勤 務 地 東京都港区、愛知県岡崎市、京都府京都市、岡山県倉敷市、海外各事業所など

勤 務 時 間 所定労働時間1日8時間
フレックスタイム制有

休 日 休 暇 完全週休2日制(土・日)、ゴールデンウィーク、年末年始、夏季休日、年次休暇など

教 育 制 度 新入社員教育制度、各階層別教育、英会話教育、e-ラーニング、専門教育、通信教育など

募 集 学 科 **技術系** 機械系、電気・電子系、情報系、物理化学系、生命科学系、ほか
事務系 全学部・全学科

！ 新卒採用HP・インターンシップ情報はここから
<https://www.mitsubishi-motors.com/jp/recruit/>

